

# 外来診療の案内

令和5年12月現在

院長(兼)総合診療科部長(兼)地域医療連携室長(兼)医療安全管理室長 田中 修也  
事務長 久永 勇一 総看護師長 寺師 真理子

【診療科部長】 呼吸器内科部長 中塩屋 二郎 小児科部長 水流 尚志 脳神経内科部長 有村 仁志  
第一循環器内科部長 吉野 聡史 第二循環器内科部長 藺田 剛嗣

診療科	月	火	水	木	金
内科 (午前)	末永 勝士	日高 将気	吉嶺 光太郎	日高 将気	吉嶺 光太郎
	リウマチ・ 膠原病外来(終日)			駿河 幸男	
	糖尿病外来(終日)		福重 恵利子		
	肝臓外来(終日)		長谷川 将 (第2, 4週)		
生活習慣病 予防健診・ドック		宇都 寛高		吉嶺 光太郎	
呼吸器内科 (午前)	田中 修也	田中 修也	田中 修也	田中 修也	田中 修也
	中塩屋 二郎	中塩屋 二郎		宇都 寛高	中塩屋 二郎
呼吸器外科 (午前)		青木 雅也			
循環器内科 (終日)	吉野 聡史		吉野 聡史		吉野 聡史
	藺田 剛嗣			藺田 剛嗣	
		内門 義博			内門 義博
脳神経内科	午前	有村 仁志	有村 仁志	有村 仁志	有村 仁志
	午後		もの忘れ認知症外来	脳ドック	
脳神経外科					鹿大応援医師 (第2, 4週)
小児科	午前	水流 尚志 今塩屋 聡伸	水流 尚志 今塩屋 聡伸	水流 尚志 今塩屋 聡伸	水流 尚志 今塩屋 聡伸
	午後	初診・再診受付 14時~16時		健診・予防接種 13時30分~15時 初診・再診受付 15時~16時	初診・再診受付14時~16時 心エコー検査 応援医師(第4週)
放射線科 (読影のみ)		応援医師(終日)			応援医師(午前)
腹部エコー	午前		検査室	検査室	検査室
心エコー		内門 義博	吉野 聡史	藺田(第1,3,5週) 内門(第2,4週)	吉野 聡史 藺田 剛嗣
頸部エコー				放射線部(午後) 脳ドック	有村 仁志(午後) 第3週は不可
シンチ	終日	脳血流シンチ	骨シンチ	心筋シンチ	腫瘍シンチ/骨シンチ 脳血流シンチ
内視鏡	午前/上部消化管		末永 勝士		軸屋 賢一
	午後/下部消化管		重田浩一朗 脇黒 薫		軸屋 賢一
気管支鏡	午後			呼吸器内科医師	
CT・MRI	終日	終日	終日	終日	終日

## 鹿児島県立北薩病院

〒895-2526 鹿児島県伊佐市大口宮人502-4  
TEL : 0995-22-8511 FAX : 0995-22-6785  
0995-22-9397(地域医療連携室)  
Mail : hok-hos@pref.kagoshima.lg.jp

※受診について、小児科以外は原則予約制  
となっています。待ち時間短縮のため、電  
話での予約をお願いします。  
○電話予約：午後2～5時まで



さざんか  
～県立北薩病院だより～

12月号  
No.213

## 年末のごあいさつ

令和5年5月8日から新型コロナの取り扱いが2類から5類へ変更となりました。季節性インフルエンザも合わせて引き続き、感染対策には十分注意が必要です。

当院では今年度から、心臓カテーテル検査・治療が始まり、来年には病室の改築工事を行う予定です。新たな形で、救急医療、循環器治療に貢献できればと期待しております。

令和5年は、WBCでの、侍ジャパン世界一に始まって、大谷翔平選手の衝撃的な契約で暮れようとしています。個人的には、阪神タイガースが、18年ぶりにリーグ優勝を成し遂げ、38年ぶりの日本一にも輝き、また、11月には、8人目の孫ちゃんが誕生して、とても幸せな年になりました。令和6年もいい年になるように、頑張っていきたいと思っております。皆様には、今後とも北薩病院へのご協力、ご支援を、何卒よろしくお願い申し上げます。

院長 田中 修也



当院は、令和4年9月の「県立北薩病院あり方検討委員会」から提言を受け、段階的な経営改善に努めているところです。

また、トイレ付き個室の増床やトイレの洋式化など病棟機能強化や利便性向上を図るため院内の改修工事に着手する予定です。

診療圏人口の減少や、医師・看護師不足、診療報酬の改定など、当院を取り巻く環境はますます厳しい状況が続くと思われませんが、地域の皆様から求められ、地域になくてはならない病院として存続するために、今後も職員一丸となって取り組んでいきたいと思っております。

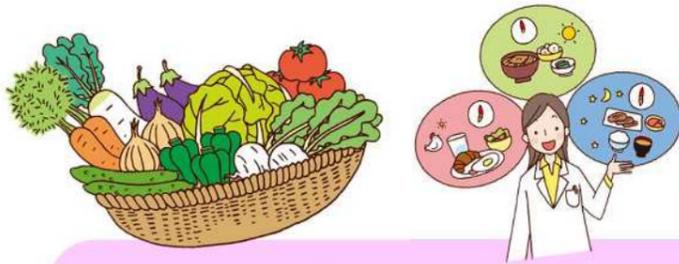
事務長 久永 勇一

新しい看護体制や心臓カテーテル検査の導入など、慌ただしい1年となりました。看護職員数が減り、看護師一人一人の業務が増えましたが、私たち看護師が行う「看護」の基本は変わりません。

人と向き合い、人を大切にする仕事だからこそ、皆で力を合わせ、自身も大切にしながら、地域に求められる病院としての看護を提供し続けていきたいと考えています。

来年は病院改築も始まります。地域に根差し(タツ)、目標をタツ成できる一年にしたいと思っております。

総看護師長 寺師 真理子



さざんかでは院内の各部署や働いている職種の紹介をしています。  
第3回は「管理栄養士」、「調理員」  
についてご紹介します。



## ○ 管理栄養士について

管理栄養士とは、病気を患っている方や高齢で食事がとりづらくなっている方、健康な方、一人ひとりに合わせて専門的な知識と技術を持って栄養指導や給食管理、栄養管理を行うものです。

管理栄養士は、医療施設、老人福祉施設、介護保険施設、児童福祉施設、小・中学校、行政機関、企業、管理栄養士・栄養士養成施設、試験研究機関等で働いています。乳幼児期から高齢期まであらゆるライフステージで、個人や集団に食事や栄養についてアドバイスをしたり、特定給食施設等で献立を立てて食事を提供したり、栄養状態の管理を行い、皆さんの健康を食と栄養の専門職としてサポートしています。



～当院の栄養管理士の主な仕事～

- 給食の献立作成、食材発注等管理  
献立の作成、食材の発注や、在庫管理、アレルギーへの対応等、給食の提供にかかる業務を行っています。
- 入院患者全員の「栄養管理」を行うための計画書作成  
医師や看護師、薬剤師等と共同で作成し、全員の栄養状態を確認、毎週病棟で看護師等を協議し、提供する食事の検討等を行っています。
- 栄養食事指導  
医師が必要と判断された方には、入院・外来関わらず栄養食事指導を行っています。

## ○ 調理員について

管理栄養士や医師、看護師らと協働しながら、入院中の患者さん一人ひとりの症状、治療方針に合わせた病院食を、毎日、朝・昼・夕作っています。調理を通じて、患者さんの健康維持と早期回復をサポートしています。飲み込む・かむ力が弱った方には、とろみをつけたり、刻んだりするなどの対応も行っています。

薄味でもおいしく食べていただけるように、「いりこ」「鰹節」「昆布」などから、しっかりとだしをとる、盛り付けを工夫するなど、調理員全員で取り組んでいます。



## ○ 当院で提供する食事について

病院の給食は、大きく分けて、一般治療食と、特別治療食に分けられます。

- 一般治療食：特別な制限がない食事です。一般的な食事に加え、消化のよいものを中心とした軟菜対応をしたものも含まれます。  
北薩病院では、一人ひとりの必要量を計算した上で、健康の維持・増進に適した量となるように提供しています。常食・全粥食・幼児食などが該当します。
- 特別治療食：糖尿病・心臓病などの病気の状況に応じて、エネルギー、たんぱく質、脂質、塩分などを制限した食事のことです。医師の指示に基づいて提供されます。  
北薩病院では、エネルギー制限食・蛋白制限食・塩分制限食などが該当します。

## ☆ その他の対応

一般治療食・特別治療食に関わらず、歯がない等、かむ力が弱った方や食べ物や飲み物を飲み込みにくい症状がある方に対応して、形を変えたり、飲み込みやすくするためにとろみをつける対応も行っています。

北薩病院では、食材の大きさを、「普通・一口大・キザミ・ブレンダー」、飲み込みにくい方に対しては、とろみの強さを調整して、嚥下機能が低下した方にも対応しており「きざみとろみ」など、大きさ・とろみの両方を兼ね備えた食事を提供することも多くあります。

また、力の弱った方でも食べやすい特別なスプーンやフォークを用意する等、一人ひとりの状況を看護師や、理学療法士・作業療法士等と共同で確認し、食べる楽しみをできるだけ保てるよう心がけています。